

「障害のためにいやな思い、かなしい思いをしたこと」と「障害がある人への気くばりとして良いと思っ たこと」を募集します

姫路市では、障害がある、ないに関係なく、すべての人がすべての人を大切にしながら、いっしょに生活できる社会をつくることを目指しています。平成28年4月にスタートした「障害者差別解消法」という法律でも、そんな社会をつくることを目指しています。

姫路市では、「障害のためにいやな思い、かなしい思いをしたこと」と「障害がある人への気くばりとして良いと思っただこと」を募集します。

集まった事例を参考にして、差別をなくすための取り組みを考えていきます。また、たくさんの人に障害についてわかってもらうための取り組みに使います。

これまでに経験したことや、見かけたことなどの具体的なできごとを教えてください。ご協力をお願いいたします。

● 応募できる人

姫路市内に住んでいる人、姫路市内の会社に勤めている人、姫路市内にある学校や施設に通っている人

● 募集期間

令和6年8月9日（金）まで

※この期間に間に合わなくても、応募できます。

● 応募方法

応募用紙に書いて、下に書いてある障害福祉課にもってきってもらうか、手紙で送るか、FAXで送るか、メールで送ってください。自分で書くのが難しい人は、電話で内容を話してもらい、障害福祉課が聞き取って代わりに書くこともできます。

個人の住所や氏名などは書かないようにしてください。

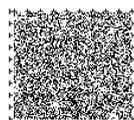
書いていただいたできごとは、個人が分からないようにして、たくさんの人に障害についてわかってもらうための取り組みに使うことがあります。

書いていただいたできごとへのお返事はできません。

● 提出先

姫路市 障害福祉課（管理担当）

住所 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地
電話番号 079-221-2454
FAX番号 079-221-2374
メールアドレス syogaif@city.himeji.lg.jp



【記載例】日常生活のさまざまな場面で、これまでに経験したこと、見かけたことなどをお寄せください。

- ① 障害を理由として「差別を受けたと思ったこと」や「いやな思いや悲しい思いをしたこと」「適切な配慮がなくて困ったこと」または「それらを見かけたこと」等について、具体的に記入してください。

【記載例】

- ・車椅子に乗っていることが理由でお店に入ることを断られた。
- ・講演会に参加申込みをした時に、聴覚障害があるので手話通訳をつけて欲しいと頼んだが、できないと言われた。
- ・本人を無視して介助者や支援者、付き添いの人だけに話しかけていた。 など

- ② この事例について、「こうしてほしかった」「こうしたほうがよい」と思ったことがあれば記入してください。

【記載例】

- ・障害のことをきちんと説明させてもらいたかった。
- ・「～しましょうか」と、声をかけてほしい。 など

- ③ 障害がある人への配慮や心遣いなどで、「うれしかったこと」「助かったこと」または「そのような配慮を見かけたこと」等について、具体的に記入してください。

【記載例】

- ・内部障害なので、まわりから理解されにくいですが、電車に乗っているときに、体調が悪いので席を替わって欲しいと伝え、心よく席を譲ってくれた。
- ・飲食店で、目が見えないことを伝え、店員の方がメニューを読み上げてくれた。
- ・子どもが、病院の待ち時間にパニックになったとき、看護師さんが別室を用意してくれた。 など

